令和2年4月15日発行　2020年4月号　小淀ホーム広報誌　通巻79号

KOYODO 寿楽 JYURAKU

小淀ホーム

HOME

令和2年4月号

Since 1996

神田川にお花見に行きました

毎年、神田川沿いの桜を見に行くことを皆様とても楽しみにされているのですが、今年は外出をするのが難しい状況もあり、デイサービス利用者様のみ神田川にお花見に行きました。
来年は特養の皆様も一緒に桜並木を楽しみたいです。

♫ お花見 特設会場 ♫

外出が難しいのであれば、ホームの中でお花見を楽しもう！と、3/26（木）・3/27（金）の2日間、ホーム内に職員手製のお花見特設会場を作りました。
桜は吉野桜・陽光桜・彼岸桜の3種類をご用意。桜を愛でながら緑茶をいただきました。皆様「キレイね」「いい香り」「家族と新井薬師によく見に行ったわ」など感想を述べられ、特設会場のお花見を楽しまれていました。

☆ 夢の実現 ☆

うなぎ

和菓子

昨年度は利用者様がやりたいことに応え、笑顔になれることをテーマに≪夢の実現≫と題し、活動を行いました。今回は3/17（木）「うなぎを食べよう！」、3/25（水）「和菓子を楽しもう！」のご報告です。
うなぎは以前入所されていた方のお店「うな若」さんより、うな重の出前を取りました。肉厚なうなぎと肝吸いをいただき「美味しい」と喜ばれていました。
和菓子は目でも楽しめる、色とりどりの和菓子を取り寄せました。お好きなものを2～3個を選んでいただき、抹茶と共にいただきました。「和菓子と抹茶が合うね」と喜ばれていました。

職員が着物を着て、お茶を点てています。心を込めて、皆様をおもてなし♫

♪ 技能実習生 紹介 ♪

李さん

1月中旬より中国　西安市から技能実習に来ている、実習生2名のご紹介です。
西安市のことや日本の印象等、インタビューを行いました。

王さん

Q：中国　西安市はどのような所ですか？おすすめの場所などあったら、ご紹介ください。

⇨西安市は兵馬俑で有名な所です。私達のおすすめの場所は大唐芙蓉園です。大雁塔という塔があり、夜には園全体がライトアップされるので、とても綺麗です。
他には青龍寺は桜の名所なのですが、その桜は日本から贈られた桜で、3～4月にかけてが見頃です。
また回民街という市場は色々な食べ物が売られています。食べ物では『刀削（トウショウ）麺、ビャンビャン麺、ロウジャーモー』がおすすめです。刀削麺は丸くて短い麺、ビャンビャン麺は平たくて長い麺が特徴です。ロウジャーモーは餅の間に刻んだ豚肉が挟んであり、ビャンビャン麺と一緒に食べます。

※ビャンビャン麺の漢字はとても難しく、中国の方でも書けない方が多いそうです。

Q：日本に来て、印象的だった出来事はありますか？

⇨『抹茶のケーキ・お寿司・お刺身』が美味しかったです。中国料理では魚を生で食べることはありません。
あとは交通ルールの違いにびっくりしました。中国では車は右側通行ですが、日本は反対（左側通行）で。中国で（左側通行）したら捕まっちゃう、と思いました。

Q：今後の意気込みを教えてください。

李さん⇨人と人の関わりはコミュニケーションが大切です。利用者様に分かりやすく思いを伝えたいので、もっと日本語が上手くなりたいです。

王さん⇨利用者様の自立支援ができるよう、頑張っていきたいです。

令和2年度事業計画

今年度は、利用者様が喜びを感じ、職員もやりがいを感じることでサービスの向上を目指します。また、福祉機器をＩＴ化することで安全の向上と業務の効率化、そして、人材確保、地域連携を強化します。

１．運営理念

「スマイル小淀！私たち自身が受けたいサービスを、必要とする人に届けます」

２．小淀ホームの重点課題

ア）特養の増床計画の実施

入所定員を60名から13名増員し、73名とすることで入所待機者解消の一助とします。また、経営の安定を図ります。

イ）利用者・地域に選ばれる施設運営

①利用者の夢の実現

昨年度に引き続き、利用者の夢の実現（観劇・思い出の食事など）にチームで取り組み、日常とは違った楽しみを感じる機会を設けます。

②ユマニチュードの実践

認知症ケアのひとつであるユマニチュードの基本技術『見る・触れる・話す・立つ』を全職員が理解・実践できるようにします。

③脳活性プログラムの導入と活用

デイサービス利用者や地域の虚弱高齢者等を対象に脳活性化プログラムを取り入れることで認知症予防や楽しさを提供します。

ウ）働きやすい職場づくり

①ノーリフトケア（抱え上げない介護）の推進

特養に移乗用リフトを２台導入し、ノーリフトケアのさらなる推進を図ります。また移乗用リフトを安全に運用するための教育と技術習得に努め、スキルアップと事故防止につなげます。

②新任職員の育成と定着

新入職員や技能実習生に対し、新任職員育成チェックリストを活用して、育成内容の統一を図ります。

③ICT化を段階的に推進

ICT化を進めていくにあたりインカムを導入し、職員間の円滑な応援要請や情報共有や、緊急時などの利用者対応の迅速化と業務の効率化を図ります。

エ）地域に必要とされる施設づくり

地域向け食事会・認知症カフェと町内会等の地域活動、認知症に関する啓発活動への参加を今年度も継続します。また、ＳＮＳを活用した情報発信に取り組み、身近に感じられる施設運営にします。